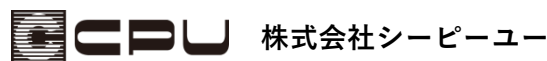


NEWS RELEASE



“測る・魅せる・見積もる”をつなぎ、リフォーム提案を迅速化

建築 3 次元 CAD 「A's 2027」^{エース}・空間計測アプリ 「A's 3D Scan」^{エース スリーディー スキャン} 新登場

株式会社シーピーユー（本社：石川県金沢市西泉 4 - 6 0、代表取締役 木屋満晶）は、重要性が高まるリフォーム・リノベーションへの対応を強化する建築 3 次元 CAD の最新版「A's 2027（エース 2027）」と空間計測アプリ「A's 3D Scan（エーススリーディースキャン）」を 2026 年 10 月 19 日（月）にリリースいたします。

建築業界では、少子高齢化や人口減少、新築住宅価格の高騰、住まいに対するニーズの多様化を背景に、既存住宅を活用するリフォーム・リノベーションの重要性が高まっています。

一方、既存住宅の改修では、建物ごとに状態や工事内容が異なるため、現地調査や図面作成、工事範囲の検討、資材や作業量の算出、見積もりなど多くの作業が必要です。人手不足が課題となる中、こうした業務を効率化し、限られた人員でも迅速かつ精度の高い提案につなげることが求められています。

これらの課題に対応するため、A's 2027 は、“測る・魅せる・見積もる”の一連の工程をシームレスにつなぎ、業務負担を軽減するとともに、リフォーム提案の迅速化と受注機会の拡大を支援します。

<測る>3D スキャンで現況を可視化し、現地調査・設計作業を効率化

空間計測アプリ「A's 3D Scan」は、LiDAR^{※1}を搭載したスマートフォンやタブレットを利用して室内を 3D スキャンし、空間の立体形状をデータ化できる無料アプリです。アプリ上で開口部や建具などの情報を指定でき、空間情報を保持した 3D データとして「A's 2027」に取り込み^{※2}、現況図面として活用できます。

従来はメジャーや図面を用いて行っていた現地調査の手間を軽減し、現況図面の作成時間を大幅に短縮できます。また、計測漏れによる手戻りを防ぐとともに、現地に同行していない設計担当者も現場の状況を把握しやすくなり、スムーズに設計作業へ移行できます。

<魅せる>改修内容を明確化し、提案から施工までの信頼性をアップ

A's 2027 では、図面上に壁や床の撤去・張り替え、建具の撤去・入れ替えなど、リフォーム・リノベーション特有の工事内容を表記やマークで細かく表現できます。図面をもとに工事内容を関係者間で共有し、認識のズレや施工ミスの抑制に役立ちます。

作成した図面は、お客様へのプレゼンボードとして出力できます。既存図と計画図に加え、リフォーム後の完成イメージを 3D パースで表現することも可能です。改修前後の違いを視覚的にわかりやすく伝えられるため、お客様への理解を促し、信頼感のある提案につなげられます。

<見積もる>撤去工事・新設工事の双方を踏まえた見積もりに対応

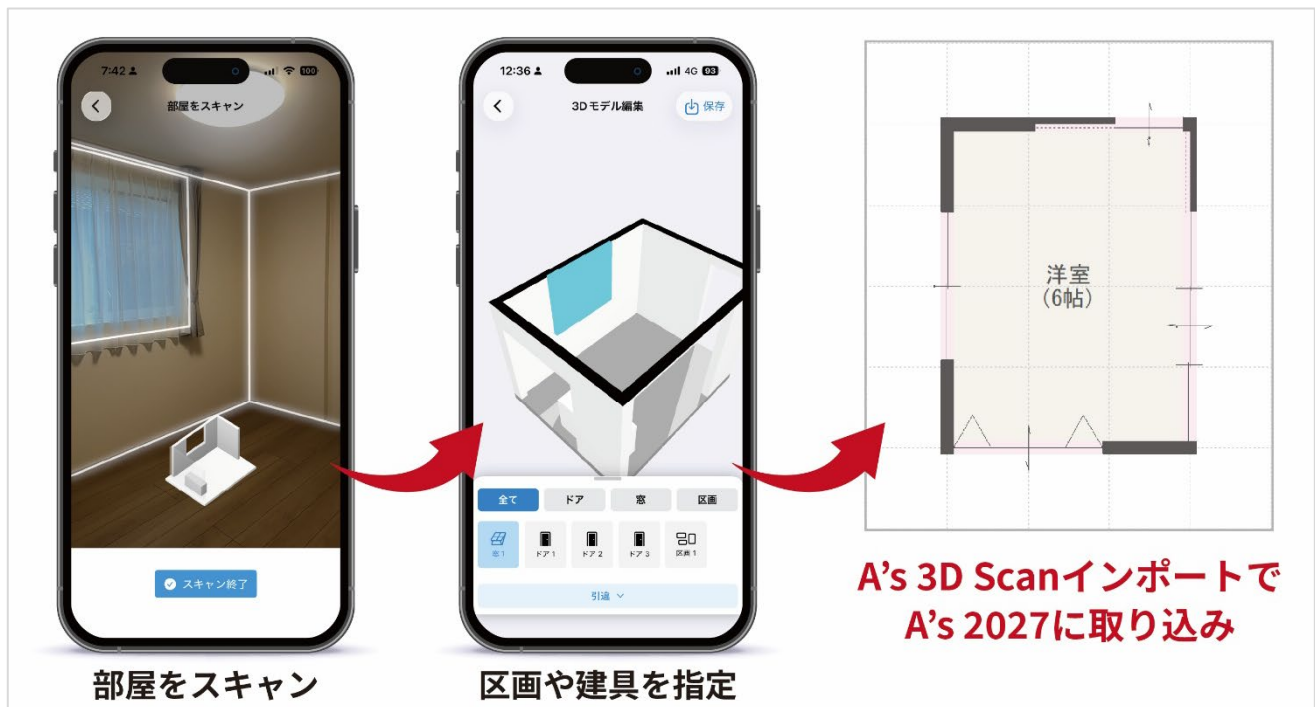
図面上で指定した工事内容から、積算・見積もりに必要な面積や高さなどを自動で拾い出せます。従来、案件ごとに手作業で行っていた数量拾いを効率化し、作業負担を大幅に削減します。

さらに、リフォーム・リノベーション対応の見積書テンプレートも搭載し、拾い出した数量から、すぐに見積書を作成できます。金額算出の根拠となる数量と工事箇所を 3D モデル上に表示し、計算式とあわせて確認でき、初期提案段階から根拠のある見積もりを提示できます。

また、「A's 2027」では、同シリーズの従来製品と比べて処理待ち時間を短縮したほか、建築基準法の改正や確認申請に関する制度改正への対応を支援する機能も搭載しています。A's 2027 は、人手不足や競争激化が進む中、建築事業者の提案力と業務効率の向上を支援し、よりスムーズで質の高い住宅提案の実現に貢献します。

※1：LiDAR を搭載した iPhone/iPad 端末（iOS17 以上）が必要です。

※2：「A's 3D Scan」のデータを A's 2027 に取り込む際は、A's オプション「A's 3D Scan インポート」の契約が必要です。



▲ A's 3D Scan で作成した 3D データを A's2027 に取り込み図面化

■ 建築 3 次元 CAD 「A's 2027 (エース 2027)」

提供開始	2026 年 10 月 19 日 (月)
主な特長	1) 現地調査から見積もりまでをつなぐ、リフォーム機能強化 ・ A's 3D Scan のデータを取り込み、3D モデルや現況図面を作成 ・ 工事内容に合わせて数量を自動拾い出し、リフォーム用見積もりに連携 2) 2025 年 4 月建築基準法改正や BIM 図面審査への対応を支援 ・ 柱の負担面積算定と図面出力に対応 ・ BIM 図面審査システム「ArchSync」で読み込める IFC データ出力に対応 (2026 年 12 月提供予定) 3) 同シリーズの従来製品比で、処理待ち時間を短縮 ・ 保存済み物件における「プラン図」の起動時間・表示時間を改善 ・ 「3D パース」における一部のダイアログ表示時間を改善
価 格	■ 本体価格 定価 550,000 円 (税込) ～ ※エースユーザー様 (サポート会員にご加入の方) は、システムアップを除き追加費用はかかりません。 ■ 新オプション「A's 3D Scan インポート」 初期設定費 33,000 円 (税込)、利用料 (年額) 39,600 円 (税込)

■ 空間計測アプリ「A's 3D Scan (エース スリーディー スキャン)」

提供開始	2026 年 10 月 19 日 (月)
主な特長	・ LiDAR を搭載したスマートフォン・タブレットで部屋の立体形状をデータ化 ・ 区画や建具などの情報を指定し、A's 取り込み用の 3D データを作成
価 格	無 料 ※App Store にて提供

* 開発中につき、予告なく仕様を変更する場合があります。

[本件に関するお問い合わせ]

株式会社シーピーユー 企画課 TEL.076-280-8023

E-mail kikaku@cpu-net.co.jp